


各学科・専攻学修状況の報告 (3) 生活科学専攻の学修状況

○三輪 それでは、生活科学専攻の三輪が報告させていただきます。よろしくお願いいたします。



生活科学専攻の「アドミッションポリシー」「カリキュラムポリシー」「ディプロマポリシー」について説明します。まずアドミッションポリシーですが、日常生活をめぐるさまざまな課題に関心を持ち、本学での学修を通して高い専門性を身につけた、家庭科教育を通じて社会に貢献できる人材を求めていくということです。

 生活科学専攻

生活科学専攻の3ポリシー

<アドミッションポリシー>
日常生活をめぐる様々な課題に関心を持ち、本学での学修を通して高い専門性を身に付け、家庭科教育を通じて社会に貢献できる人を求める。

<カリキュラムポリシー>
家庭科は、実践的・経験的に学修した知識や技術を生活に活用する教科である。そこで実践力の高い家庭科教員を養成するため、コア科目を中心にカリキュラムを編成する。特に被服実習科目の充実を図り、洋裁・和裁の縫う技術を高める科目を設定している。

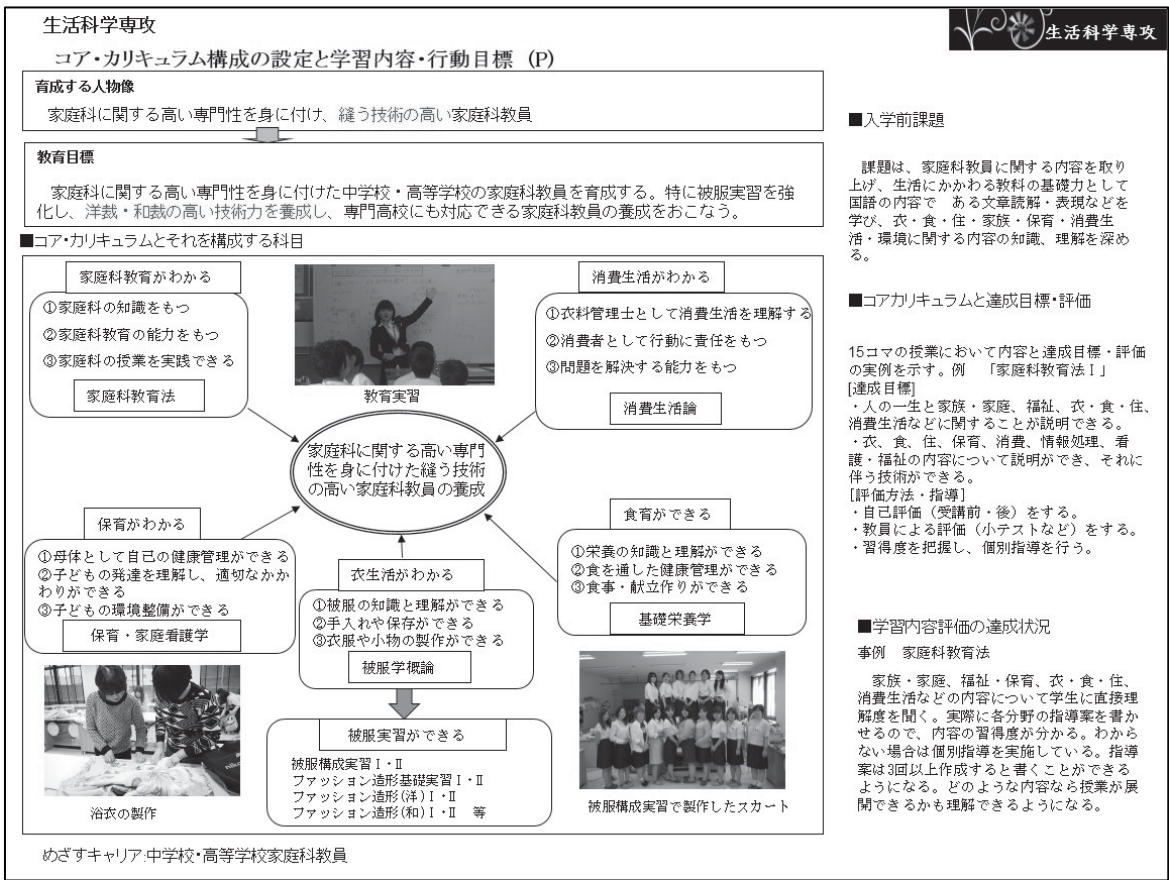
<ディプロマポリシー>

- ・衣・食・住に関する知識や技術を活用し、豊かな生活を工夫し創造することができる。
- ・和裁・洋裁の縫う高い技術を身に付け、家庭科教員として実習指導ができる。
- ・家族・保育に関する知識や技術を活用し、円滑な対人関係を築き、人と適切に接する能力を有する。
- ・消費生活・環境に関する知識や技術を活用し、生活上の課題や問題に対処することができる。
- ・これらの能力を多面的に活用し、家庭科教育を通じて社会へ貢献することができる。

<生活科学スライド1 3ポリシー>

次に、カリキュラムポリシーですが、家庭科教員の養成に伴いまして、家庭科は実践的・経験的に学修した知識や技術を生活に活用する教科ですので、そこで実践力の高い家庭科教員を養成するために、コア・カリキュラムを中心にカリキュラムを編成しております。特に被服実習科目の充実を図り、洋裁・和裁の縫う技術を高める科目をカリキュラムのなかに多く設定しております。

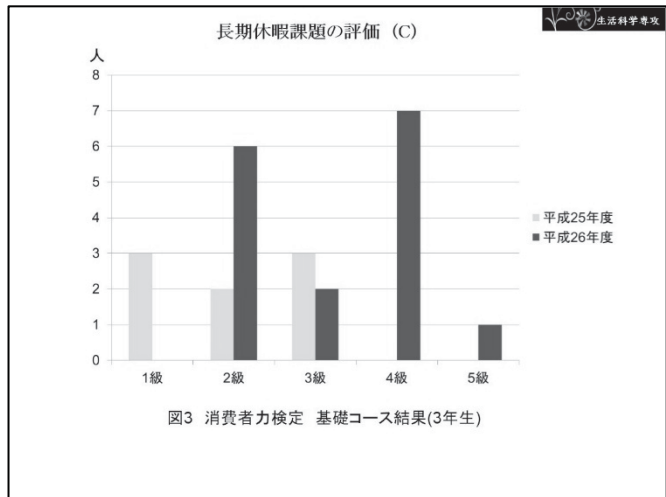
そして、卒業時のディプロマポリシーですが、衣生活に関する知識や技術を活用して、豊かな生活を工夫し創造することができる。さらには、縫う技術を身につけた家庭科教員として実習指導ができる。そして、円滑な人間関係を築くことができる。人と適切に接する能力を有する。あるいは生活上の課題や問題に対処することができる。そして、これらの能力を多面的に活用して、家庭科教育を通じて社会に貢献することができるということで設定しております。



＜生活科学スライド2 コア・カリキュラム＞

それに伴いますコア・カリキュラムの構成です。こちらは、求める、育成していく人物像としまして、家庭科に関する高い専門性を身につけた、縫う技術の高い家庭科教員ということで、家庭科はいろいろな領域がありますので、「家庭科教育法」という家庭科教育を中心に、衣・食・住、消費と保育も含めて学び、さらに衣生活がわかるに重点を置き、「被服構成学」に伴う実習科目につなげていきます。先ほども言いましたように、さまざまな実習科目を設定しているということです。

こちらは認証評価で高い評価をいただいた長期休暇課題の評価についてです。このグラフは夏季課題で、3年生に消費者力をつけるという課題を出しております。その課題がどのぐらい達成されたかを評価するために、外部の消費者力検定の基礎コースの結果です。



<生活科学スライド 3

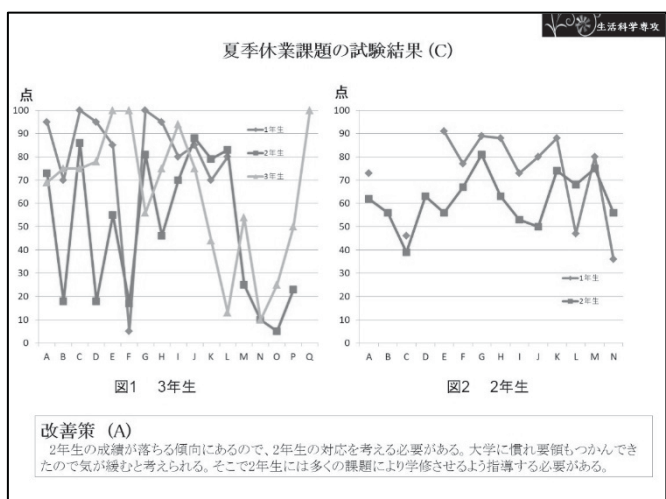
長期休暇課題の評価>

昨年度から実施しておりますので、平成25年度の3年生、そ

して、現在、平成26年度の3年生の結果です。見ていただくとわかるように、現3年生のところは2級、4級、5級という学生が存在しています。現4年生の学生は、1級、2級に集まっています。これは基礎コースですが、現在の4年生は応用コースを受けていた学生が多いため、ここの数は少ないですが、現3年生は、今の4年生に比べて少し出来が悪いという状況が、このグラフからわかると思います。

生活科学専攻のなかでも、学年によっていろいろな差があります。できる学生のバラつきがあり、学年のカラーというものがあって、現3年生は、成績から見ると少し悪いということが、出てきてしまいました。

これも夏季休業課題の試験結果です。これは学内でやっているものです。先ほど3年生の成績があまりよくないという話をしましたが、これは、3年生が1年生、2年生、3年生の時のものを表わしたグラフです。1年生は青色です。かなり成績の差が激しいということがわかります。



<生活科学スライド 4

夏季休業課題の試験結果>

2年生になると赤色になりますので、またさらに低くなっています。3年生の状況で

すと緑色になって、ちょっと上へあがっているという結果が出ました。

こちらが現2年生のものです。2年生も1年生の青色のグラフは比較的上位に成績が集まっています。しかし、2年生の結果は、やはり1年生よりは下がっています。こちらの現3年生も2年生で下がっています。現2年生も2年生で下がっています。つまり、2年生の成績が1年生に比べて落ちる傾向があることがわかります。大学に慣れてきて少し気が緩むということも考えられるので、2年生のところで、もう少ししっかり勉強させないといけないと思われます。この結果から、改善点として2年生の課題をどのように持っていくかを考えることが課題です。

それから、「ECO+もの作りプロジェクト」に関して、前回の報告でも去年の3月からスタートしたいとお話しました。今年、実際にスタートしました。この「ECO+ものプロジェクト」は、家庭科教員を目指すために経験・実践を重視する目的で始めました。現在、高校でもいろいろな企業とのコラボにより商品開発をしたり、様々な取り組みをされていますので、もし家庭科教員になったときに、対応できるような能力を身につけていかなければいけないのではないかと考え、ものづくりの実践をスタートしています。

まずは今年が1年目ということで、取り組んだキーワードは「エコ」ということです。靴下を製造するときに丸い輪の廃材が出てきますので、それを活用し売れる商品をつくる取り組みをしました。1年生と2年生を中心に、「織り」「編み」「組み」「染め」という技法別にグループを分けて、それぞれのグループで開発し、考えてくことを行ったものです。

これは4年生がネクタイのリフォームをしてみようということで、理事長先生からネクタイをいただいて工夫してベストにリフォームをしたものです。先輩がこの



生活科学スライド5

経験・実践を重視する教育1

ようなことをしているという姿を1年生、2年生、3年生が見ながら、商品をつくっていきました。

実際に、売れなければ意味がないということで、どのように売ればよいか考えた結果、7月にJR岐阜駅でおこなわれた「どうさん楽市」に出店してみました。

ECO+もの作りプロジェクト		生活科学専攻																																					
平成26年度活動報告		H27.1.16																																					
月	活動状況	リーダー会等																																					
4	リーダー決定、グループ決定、 全員に趣旨の説明と活動計画を報告	2年生リーダー会 (活動の打合せ)																																					
5	グループ活動開始																																						
6	グループ活動 フリーマーケット、クラフト展見学、レポート提出 リーダー写真撮影 HP作成の説明会と作成	12年生リーダー会 (会計について、共通購入品について、キャラクターデザインについて、HPについて、社会貢献活動と環境を考えた活動について、どうさん楽市までのスケジュール等)																																					
7	グループ活動 出店デモ どうさん楽市出店(7/19)	1年生リーダー会 2年生リーダー会 12年生リーダー会 (活動状況について、商品についてどうさん楽市参加に関わる打合せ等)																																					
8~9	グループ活動 さぎ草祭出店準備、商品の計画、製作 夏休みの活動計画																																						
10	さぎ草祭(10/18,19) グループ活動 織りの勉強会	12年生リーダー会 (さぎ草祭について、商品、当番等決定と確認、HPについて) 12年生リーダー会 (経費について、さぎ草祭売り上げ、反省、吉祥寺クラフト展打合せ、他)																																					
11~12	グループ活動 靴下の廃棄物で指編み作品の勉強会	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">売り上げ(43,380円) H27.1.16</th> </tr> <tr> <th>グループ</th> <th>どうさん楽市(H26.7.19)</th> <th>さぎ草祭(H26.10.18・19)</th> <th>吉祥寺乳弁天(H26.11.8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1,200</td> <td>5,830</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>1,000</td> <td>6,000</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>600</td> <td>6,950</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1,600</td> <td>6,150</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td></td> <td>4,200</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>6,250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,400円</td> <td>35,380円</td> <td>3,600円</td> </tr> </tbody> </table>		売り上げ(43,380円) H27.1.16				グループ	どうさん楽市(H26.7.19)	さぎ草祭(H26.10.18・19)	吉祥寺乳弁天(H26.11.8)	A	1,200	5,830	600	B	1,000	6,000	1,200	C	600	6,950	200	D	1,600	6,150	0	ワークショップ		4,200	1,600	その他		6,250		合計	4,400円	35,380円	3,600円
売り上げ(43,380円) H27.1.16																																							
グループ	どうさん楽市(H26.7.19)	さぎ草祭(H26.10.18・19)	吉祥寺乳弁天(H26.11.8)																																				
A	1,200	5,830	600																																				
B	1,000	6,000	1,200																																				
C	600	6,950	200																																				
D	1,600	6,150	0																																				
ワークショップ		4,200	1,600																																				
その他		6,250																																					
合計	4,400円	35,380円	3,600円																																				
12~1	「お母さんの手づくりを応援します」のための練習・準備 (きんちゃく袋、裕のレッスンバッグの製作をマスター) (きんちゃく袋、裕のレッスンバッグ販売用製作) (製作のプリントづくり、材料準備、キッド準備)	12年生リーダー会																																					
2	「お母さんの手づくりを応援します」のための練習・準備 (販売用袋製作) (材料、キッド準備) ワークショップ「お母さんの手づくりを応援します」開催(2/16,17)	12年生リーダー会																																					

<生活科学スライド6 平成26年年度活動報告>

その結果は、売れた金額でみると最初は4,400円でした。次に「さぎ草祭」の大学祭で販売をしてみました。「さぎ草祭」は2日間ありますので、35,380円の売り上げを得ることができました。今、ここには書いてはありませんが、11月8日に吉祥寺というお寺でおこなわれる出店の機会があって、そこでは3,600円でした。今年の売り上げは43,380円という結果でした。

それから、2月にもう一つワークショップを実施します。「お母さんの手づくりを応援します」ということで、幼稚園児のお母さん方に「お子さんの給食の袋やかばんなどを手づくりしてみませんか」ということで呼び掛け、2月16~17日に実施することにしております。学生がなかに入り教えていくという計画をしています。

このようなかたちで、年間を通して自分たちで作り販売することを、企画して実践したのが今年の結果です。また来年も続けていこうと思っています。また新たな

1年生を加えながら実績を上げていきたいと思っています。

経験・実践を重視する教育(D)

授業、研究会、定例講演会、絵本コンクールなど様々な活動を通して、技術や能力を実践的に身につける。また、学生が互いに協力し、助け合うことで人間としての成長を見ることが出来る。

生活科学研究会

学生・教員が会員となり、毎年研究テーマを決め、研究に取り組み、さき草祭りで発表する。研究の方法や分析、まとめ方などを実践的に学ぶことができる。平成26年度は「子育て支援」を中心に親子関係について調べた。



手づくり絵本コンクール

夏季休業の課題として、布絵本の製作がある。これは縫う技術の向上と家庭科の保育領域の教材作りを兼ねている。本学が実施している手づくり絵本コンクールに学生も出品する。



伝統文化裁縫コンテスト

教育内容に「伝統や文化に関する教育の充実」が掲げられ、家庭科教育として「衣食住にわたって伝統的な生活文化に親しみ、その継承と発展を図る観点から、その学習の充実が求められる」ことが示されている。

そこで、本コンテストは中高生が日本の伝統文化にふれ、布を用いて作品を製作することを通して、製作に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、ものづくりの楽しさを実感し、生活を豊かにするために活用する能力と、創造力を育てることをねらいとしている。

自分が指導する立場を考えながら、高校生・中学生の作品にふれる。



定例講演会

講師をお招きして講演会を実施し、学生の学びの場とする。平成26年度は、本学非常勤講師の児玉愛子先生による「感謝 そして恩送り」と題して家庭科教員としてのご経験を交えて教職の素晴らしさをご講演いただいた。



被服実習の作品

被服実習で様々な作品をつくり、縫う技術を高める。



<生活科学スライド7 経験・実践を重視する教育2>

他にも経験・実践を重視する教育として、生活科学研究会、定例講演会を実施し、手づくり絵本コンクールは、夏の課題として絵本を作り出品することになっています。それから、今年で第2回目の伝統文化裁縫コンテストは、学生が直接関与しているわけではありませんが、高校生・中学生がつくった作品を、学生が展示を手伝い非常に刺激を受けて、自分たちも頑張りたいという意識を高めることができたのではないかと思います。

そして、最後ですが、家庭科教員を目指すということで、これは、岐阜県の家庭科教員の採用試験の結果です。卒業生を含めてですが、毎年何人かは合格しています。今年の平成 27 年度教員採用試験の合格者は、全て卒業生でしたが、岐阜県の高校 1 人、静岡県の中学校 1 人、熊本市の中学校 1 人ということで、3 人

の合格でした。残念ながら、4 年生は一次合格者が 2 名いたのですが、最終的に二次に合格することができませんでした。来年は、3 年生を何とか、少なくとも 1 人ないしは何人かは合格させたいと思っています。

そして、現在の 4 年生は保育士と家庭科教員と両方取得できますので、平成 27 年度の公立保育士は、三島市、金沢市、彦根市に 1 人ずつ、3 名が合格することができました。

教員対策講座は授業のなかで 2 年生から 4 年生にかけて、家庭科の専門科目の対策をおこない、直前の 6 月で面接の対策講座をおよそ 6 回に分けておこなっています。

また、夏休みに、二次試験に合格した学生に対しては、実習関係の対策講座を実施しています。以上です。

○司会 ありがとうございました。続きまして、「初等教育学専攻の学修状況」の報告を初等教育学専攻主任の森よりさせていただきます。

教員採用試験対策講座(D)		成果(C)										
授業内で実施 2年生一前・後期 家庭科教育の研究Ⅰ 3年生一前・後期 家庭科教育の研究Ⅱ(実技) 3年生一前・後期 家庭科教育研究演習 3年生一後期 家庭科教育の研究Ⅲ 4年生一前期 家庭科教育の研究Ⅲ 面接対策講座 個別面接、集団面接、グループ討議を6月より6回実施 試験に合わせて対応 夏休みの2次試験対策講座 採用試験1次合格者に対して調理実習・被服実習の対策講座を実施		岐阜県家庭科教諭採用数および教員採用試験本学合格者数 (A)										
年度	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年
採用数(中・高)	10	10	8	10	12	8	7	7	9	10		
本学卒業生を含む合格者数	1	1	2	4	5	3	5	2	2	3		
平成27年度教員採用試験合格者(卒業生) 岐阜県高校家庭科 1人 静岡県中学校家庭科 1人 熊本市中学校家庭科 1人 4年生 1次合格者 2名 理想合格者を出ることができなかったため 来年は合格者を出せるよう指導する。												
平成27年度公立保育士採用試験合格者 三島市 1人 金沢市 1人 彦根市 1人												

<生活科学スライド8

教員採用試験対策講座および成果>